

研究課題名：「股関節不安定性の変形性股関節症の進行に対する影響の調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

1989年1月1日～2017年3月31日に当院で偏心性寛骨臼回転骨切り術の手術を受けた方。

2. 研究目的・方法

研究目的：

寛骨臼形成不全において股関節に不安定性が存在していると言われていています。不安定性の存在は変形性股関節症の進行に影響すると言われていますがそれを証明した報告はありません。今回変形性股関節症の術前に撮影された股関節正面内外転位のレントゲンを使用して股関節不安定性の評価を行い、それが変形性股関節症の進行にどのような影響があるか後ろ向きに調査し明らかにすることを目的としています。さらに偏心性寛骨臼回転骨切り術前後で不安定性がどう変化するかについても調査を行う予定です。

研究方法：

当院にて1989年以降2017年3月までに偏心性寛骨臼回転骨切り術を行った症例(約800例)の術前股関節内外転位のレントゲンを使用して大腿骨頭中心の移動距離を不安定性と定義し定量化を行い、それが変形性股関節症の進行に影響するか関節裂隙の狭小化を調査することで明らかにしたいと思えます。確認項目としては年齢、性別、BMI、手術歴、既往歴、病期、関節裂隙、CE角、JOAスコアなどを用いる予定です。これらのデータを用いて単変量・多変量Cox回帰分析を行い不安定性の存在が変形性股関節症の進行に影響するかどうか調査します。また偏心性寛骨臼回転骨切り術の術前後の不安定性の変化も調べて、臨床スコアとの関連を調査します。

研究期間：

実施承認日～平成32年03月31日。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテの記録から年齢、性別、BMI、手術歴、既往歴、変形性股関節症の病期、関節裂隙、CE角、JOAスコア等を調査します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属部局名：名古屋大学医学部附属病院 整形外科

氏名：笠井 健広

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

直通電話番号：052-744-1908

FAX 番号：052-744-2260

研究責任者：

所属部局名：名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科学

氏名：関 泰輔

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

直通電話番号：052-744-1908

FAX 番号：052-744-2260

-----以上